

ムービングハウスは新島村の住宅事業の突破口になるか？

特集

ムービングハウスとは、工場では組み立てられた状態で出荷される住宅で、非常に短時間で施行できるメリットがある。似たものにコンテナハウスやトレーラーハウスがある。新島村では、職員住宅と移住定住促進住宅に起用することとなった。

6月定例会では、職員住宅、移住定住促進住宅に活用するムービングハウスについて二つの審議が可決されましたので、まとめて掲載します。

【財産取得】 新島村職員住宅 (中河原住宅)

概要：本村6丁目に新築する
新島村職員住宅5棟を
5830万円で取得（購入先：長崎県）

【財産取得】 移住定住促進住宅 (4世帯・コミュニティ棟)

概要：字川原に新築する移住定住
促進住宅を約1億412万円で取得
(購入先：長崎県)

問

入札件数と落札比率は？

答 入札件数は3社、入札比率は98.5%。

問

基礎工事や設置工事も含む金額か？

答 この金額はムービングハウス購入のみの金額で基礎や設置工事等は別契約（地元事業者）となる。

問 現在旧住宅に住んでいる職員と、新住宅に入居できる職員との間に不公平感はないか？

答 旧住宅と新住宅では家賃に差があり当然旧住宅は

安く設定されている。

問 ムービングハウスの性能は認めるが、費用の大部分が島外に支払われるのは公共工事としていかがなものかと思う。今後このような事例ばかりとなるなら、島の建築業者等の経営を脅かすのではないか？

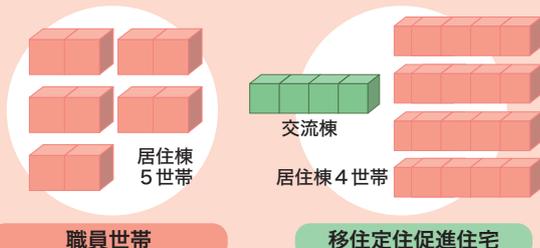
答 村としても公共工事の経済効果等は常に考慮している。今回に関しては事業期間が短く従来の建築工事では工期が間に合わなかったため、この工法を選択した。

問 耐用年数は？

答 22年とメーカーから言われたが、実際には30年以上保つているとの報告を聞いている。

問 コストなどは？

答 三重窓ガラスを採用しており、断熱性能が高くなるためエネルギーコストが安くなる見込み。



家具付き ムービング ハウス	職員世帯（5世帯）	移住定住促進住宅 （4世帯）
価格	5830万円（10BOX） 1BOXあたり583万円	10412万円 （居住棟18BOX） （交流棟4BOX） 1BOXあたり473万円
工事費	後日上程予定。 試算：2901万円	6382万円
世帯あたり 合計	試算：1746万円	試算：3435万円 （居住棟のみ）

▶ 議員らによれば、一般的なコンテナハウス/トレーラーハウスの価格は数百万円という想定もあったので、1BOXあたりの単価を算出した。（試算：木村）
※試算にあたって、移住定住促進住宅を基準とし、居住棟および交流棟の1BOXあたりの本体価格と工事費が同じと仮定した。